

● 正誤訂正 ●

『新しい眼光学の基礎』

本書 10 頁、「2 平面による屈折と像」の数式「(1-19)」に誤りがございまして、下から 7 行目へ文章を追加させて頂きました。

下記の通り訂正し、お詫び申し上げます。

(誤)

$$\theta_2 = \theta_1' - \alpha, \quad \delta = \theta_1 + \theta_2' - \alpha \quad (1-19)$$

(正)

$$\theta_2 = \theta_1' - \alpha, \quad \delta = \theta_1 - \theta_2' - \alpha \quad (1-19)$$

(下から 7 行目) : が成り立つ。これらの式では、図のように、 $\theta$  を平面の法線から光線までの鋭角の角度で表し、反時計方向を正としている。また、 $\alpha$  は正とする。

頂角が  $10^\circ$  のガラスのプリズムで屈折率が 1.5 として、・・・。

金原出版 第 1 版第 1 刷 (2008 年 7 月 20 日)